

SPDの業務について

用度課 SPD 担当 主任 佐伯 貴史

平成25年5月より、来年4月稼働予定の電子カルテと円滑に連携するため、物流管理 (SPD) システムを先行稼働しました。SPDとは「Supply Processing and Distribution」の略であり、院内で使用される物品の流れ (物流) をシステムで管理し、トレーサビリティなど医療の安全性を確保するとともに、コスト削減、原価管理など病院経営の改善・効率化を目的としています。

『消費』→『払い出し』→『発注』→『納品』のサイクルを基本とし、現在は各現場からラベル台紙を回収し物品の『消費』登録、回収台紙を用いて現場への『払い出し』、在庫数が減少した倉庫物品や各現場からの依頼物品の『発注』、『納品』を行っています。

払い出す物品や納品された物品には

2種類のラベルを貼付し、消耗品には青いラベル、償還材料には赤いラベルを貼付しています。院内の物品全てにラベルが貼付されるまでには時間がかかりますが、9月末の棚卸時にはシステム在庫と現場在庫を合わせ、物流管理システムを用いた定数管理へと変更していく予定です。

また、電子カルテ稼働前にSPDを稼働することで、職員にラベルを用いた運用に慣れてもらっています。稼働した当初は、ラベルの破棄・破損、回収台紙への貼り忘れ、払い出し数量の誤り等、問題がありましたが、1ヶ月稼働し各現場との話し合いの結果、徐々に物品の流れが確立できています。

SPD稼働に伴い、購入数量・購入額の管理から消費 (使用) 物品を加えた情報

管理へと変わってきています。その情報を基に現場の定数を見直すことで、適正在庫の提案、それに伴う過剰在庫の減少、不動産の把握ができます。また、電子カルテと連携することで、償還材料の請求もれの防止、診療科目別・患者別の物品使用状況等の情報提供ができ、業務改善にも繋がります。

物流は医療を構成する要素の1つであり、物流を通じて医療の質を高められるよう努めていきたいと思っています。



筆者 (左)、吉見淳 (右)

新S棟建設プロジェクト!

清水建設株式会社
やまのうち こうじ
山之内 浩二さん

清水建設株式会社 四国支店 愛媛営業所 工事長
松山市出身、54歳。昭和56年に日本大学工学部建築学科を卒業。清水建設に入社以来30年間、愛媛県内各地の建設現場で勤務してこられました。休日はゴルフをするのが楽しみだそうです。

当院の新S棟建設において、現場の運営等を行っている清水建設 山之内さんに工事の状況などを伺いました。



現在2階の立ち上がり部分の躯体工事中です。鉄筋をつなぎ柱にして、型枠を組み立て床をつくります。その後、床に鉄筋を入れてコンクリートを流し込みます。この作業を繰り返して積み上げていきます。

今は70~80人が働いていますが、11月頃には約300人に増える予定です。そのうちの3分の1は設備、電気関係の人たちで、コンクリートができあがった下から仕上げを行っていきます。

人を動かすことは難しくもあり、面白い仕事でもあります。「和気藹々」をモットーに現場では節度をもって、何でも言える雰囲気づくりを心がけています。「Q・C・D・S・E」(Quality 品質、Cost 費用、Delivery 工程、Safety 安全、Environment 環境)の5つの項目を常に考えながら指示をしています。

震度6強の地震では建物が40cm~90cmほど揺れます。地下の免震構造は建物の命で、工事に時間もかかりました。新S棟では4種類の大きさの免震装置が33個設置されており、震度3程度の地震の揺れは分からないかもしれません。

当社は病院の施工実績が業界第1位です。そのノウハウが全て入るように最高のものをつくりたいと思います。



専門外来 もの忘れ外来の

開設について

今後予測される急激な高齢化により、誰もが認知症の問題を避けることができない時代が到来します。また、医療従事者の立場からは、認知症を合併する病態に対峙することが既に増えてきており、認知症の診療スキルはすべての医療従事者にとって必要不可欠なものとなりました。

このような現状を顧み、もの忘れを心配されている方とそのご家族の色々な心配や負担を軽減するために、「もの忘れ外来」を開設しました。

この外来では、認知障害が疑われる症例について、きめ細やかな診察、認知機能検査やその他の心理検査、場合によっては画像診断を用いて診断を行い、紹介元のかかりつけの先生にお返ししております。お気軽にご相談ください。

担当医 佐藤 博彦 (内科・循環器内科部長)

<認知症診療に関連する経歴・資格等>

- ・岡山大学医学部 医学博士 (脳内神経伝達物質受容体研究)
- ・日本内科学会 認定内科医
- ・日本老年医学会 老年病専門医
- ・日本循環器学会 循環器専門医
- ・厚生労働省 認知症サポート医研修修了
- ・厚生労働省 かかりつけ医認知症対応力向上 (ワークショップ) 研修修了



「もの忘れ外来」の予約について

◎診察日 : 毎週火曜日 13:30 ~、予約制 (患者さん1名に初診、再診それぞれ1時間程度要します)

◎対象者 : 同居のご家族とともに受診可能な方

◎予約方法 : 同封の「もの忘れ外来」専用の診療情報提供書に必要事項をご記入の上、地域連携室までご連絡をお願いいたします。

(専用診療情報提供書の追加をご希望の方は地域連携室までご請求ください)

